

2026 年 9 月 30 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 コーポレート部長 岡谷 大
TEL : 03-6661-9543
MAIL : info@chorditherapeutics.com

AMED 公募課題 令和 8 年度「革新的医療技術研究開発推進事業（産官学共同型）

グローバルタイプ（難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業）」採択のお知らせ

当社は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development、以下「AMED」）が公募した令和 8 年度「革新的医療技術研究開発推進事業（産官学共同型）グローバルタイプ（難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業）」（以下「本事業」）において、当社が開発を進める rogocekib（開発コード：CTX-712）に関する研究開発課題が採択されましたので、お知らせいたします。

本事業の採択は、rogocekib の有する RNA スプライシング変化という新しい作用機序および国際共同開発戦略の先進性・社会的意義が、AMED により高く評価されたことを示すものと当社は考えております。また、本採択により、最大 15 億円の競争的資金の支援を受ける見込みであり、rogocekib のグローバル開発を一段と加速してまいります。

公募情報： [革新的医療技術研究開発推進事業（産官学共同型）グローバルタイプ（難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業）](#)

研究開発課題名：再発又は難治性急性骨髄性白血病/高リスク骨髄異形成症候群を対象とした CTX-712(rogocekib) の第 I/II 相試験

補助金の額：上限 15 億円

※補助事業費（補助対象経費）の 1/2 を上限に補助金が交付されます。

実際の交付額は今後の研究計画等に基づき決定されます。

※研究開発期間 令和8年10月1日～令和11年11月30日（予定）

※補助金額の詳細につきましては、[AMEDのホームページ](#)を参照ください。

1. 研究開発の背景、目的

急性骨髄性白血病（AML）は進行が速く、再発又は難治性の患者においては依然として予後が不良であることから、新たな治療選択肢の開発が強く求められています。特に近年導入された治療後に再発又は治療抵抗性となった患者に対しては、有効な標準治療が十分に確立されておらず、高いアンメットメディカルニーズが存在しています。rogocekibは、RNAスプライシングの制御に関与するCLK（CDC-like kinase）を阻害する新規作用機序を有する経口低分子化合物であり、がん細胞に選択的な抗腫瘍効果を示すことが期待されています。これまでの臨床試験では、再発又は難治性AML及び高リスク骨髄異形成症候群（HR-MDS）患者において有効性を示唆する結果が得られています。

当社は現在、rogocekibについて米国において第I/II相臨床試験を実施しており、今後、日本も参加する国際共同治験として開発を進めています。また、rogocekibは、米国食品医薬品局（FDA）よりAMLを対象とするオーファンドラッグ指定（Orphan Drug Designation）を取得しているほか、日本においても厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けています。

本事業では、再発又は難治性AML及びHR-MDS患者を対象としたrogocekibの国際共同治験を通じて、本剤の安全性及び有効性の評価を進めます。当社は、本事業の採択により、開発資金の活用を通じてrogocekibの開発を加速し、患者さんに新たな治療選択肢を届けることを目指してまいります。

2. 今後の見通し

本事業による当社業績への影響につきましては、補助金の交付額等が現時点で未確定であることから、現時点では未定です。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上